

『この部屋から東京タワーは永遠に見えない』 麻布競馬場

Twitter で書かれた小説！ 新たなる Twitter 文学！「今の自分が感じているつらさを抱きしめたいし、誰かのつらさを抱きしめてあげたい。それを表現するうえで一番適していた方法が、僕にとっては Twitter で小説を書くことだったんです」。14 万いいねに達した「3年4組のみんなへ」を初め、大反響の厳選 20 編を収録。パンチライン連発の冒頭でグッと掴まれてしまいます。ちなみに「3年4組」はこう。「3年4組のみんな、高校卒業おめでとう。最後に先生から話をします。大型チェーン店と閉塞感のほかに何もない国道沿いのこの街を捨てて東京に出て、早稲田大学の教育学部からメーカーに入って、僻地の工場勤務でうつになって、かつて唾を吐きかけたこの街に逃げるように戻ってきた先生の、あまりに惨めな人生の話をします」。それぞれの短編に語り手がいて、20 の人生が語られています。そして、驚くべきことにそのすべてがちっとも幸せそうではなくて、いいとは思えません。これが現実というやつでしょうか。地方を出て、東京の大学に入っても、就職で失敗するとか。イタい。でも自分の人生もこんなものかもしれないな。ありがちな人生。そこそこ不幸なそれを、みんな懸命に生きている。彼らのつぶやきはまったく他人ごとには思えず、見下すことができません。いまから予習をしておけば、覚悟ができるんじゃないかな。

『変な絵』 ^{うけつ} 雨穴

「どこまでも怖く。面白く」。こちらは YouTube ! 1100 万回再生され 30 万部を超えるベストセラーとなったデビュー作『**変な家**』はなんと映画化！ TVドラマ『何かおかしい』の原案も担当し、乗りに乗る雨穴さん待望の書籍 2 冊目は、初の書き下ろし小説です！ 正体不明でいつも白い仮面と黒いタイツに身を包んでいる彼。この本は、編集者と一度も会うことなく、ビデオ機能オフの黒い画面のままのオンラインミーティングのみで完成されたのだそうです。イラストも雨穴さん。「風に立つ女の絵」、消えた男児が描いた「灰色に塗りつぶされたマンションの絵」、山奥で発見された惨殺遺体が残した「震えた線で描かれた山並みの絵」など、計 9 枚の絵イラストに秘められた衝撃の真実を丹念に解き明かしていく“スケッチ・ミステリー”！

☆『ザリガニの鳴くところ』 ディーリア・オーエンズ

映画化！「私に孤独を語らないで。それがどんなふうに変えてしまうものか、私ほど知っている人間はいないと思う。ずっとひとりで生きてきたんだもの」。アメリカ南部の荒れた湿地にある粗末な小屋で暮らすカイアという少女がいた。湿地の少女。そう呼ばれる彼女は、貧しく野性的な存在として村中から蔑まれていた。6歳のときに父親の暴力から逃れるため母親が家から逃げ出し、続いていちばん上の兄と二人の姉も姿を消し、仲よしだった兄もいなくなり、最終的には父も行方知れずになってひとりぼっちになってしまう。みんなに笑いものにされて一日で学校に行かなくなってしまったカイアに文字を教えてくれたのは、テイトだった。羽根や貝殻集めをして孤独を慰めていた14歳の彼女の心に、みごとな羽根を木の株に立てることで入りこんだのだ。テイトは兄の友人で、彼女がひとりで初めて父親のボートに乗って迷ったとき嵐が来るまえに救ってくれたことがあり、ずっと近づく勇気が持てずに遠くから見ているだけの存在だった。だが、お気に入りの羽根を交換して距離が縮まったのだった。カイアはたちまち読むことに夢中になり、やがてテイトを異性として意識し始めるようになる。二人は恋人となり、カイアは生まれて初めて心が満ち足りる感覚を味わうが、ノース・カロライナの大学へと進んだテイトも彼女のもとを離れてしまう。寂しさがカイアの標本コレクションを膨大にした。村の裕福な青年チェイスからの誘いに応じさせるほどに。チェイスの死体が発見される場面から物語は始まる…。

『君のクイズ』 小川 哲

祝『地図と拳』山田風太郎賞受賞！ 新作は前代未聞のクイズ・ミステリー！「面白すぎる!! 驚くべき謎を解くミステリーとしても最高だし、こんなに興奮する小説に出会ったのも久しぶり」。あの伊坂さんも大絶賛！ 頼まれてもいないというのに、自分から帯の推薦コメントを書かせてとお願いしたのだそうです！ 生放送のクイズ番組決勝戦。7問先取の短文早押しクイズで「世界を頭のなかに保存した男」本庄 絆と対決した三島玲央は、6-6であと一問で優勝というところまで追い詰める。ところが本庄絆は、なんとまだ一文字も問題が読まれぬうちに回答し正解し、優勝を果たすのだった！ しかも、正解は「ママ、クリーニング小野寺よ」！本来読まれるはずの問題は、山形県のローカルクリーニングチェーンの名前を問うものだった。いったい彼はなぜ、正答できたのか？ 三島は正解へと迫っていく。魔法の痕跡を、あるいはヤラセの痕跡を見つけようとして。

『火狩りの王』<全四巻> 日向理恵子

いま面白いファンタジーと言えこれ！『十二国記』の山田章博^{あきひろ}のイラストでクオリティは保証済み！『GHOST IN THE SHELL』や『スカイ・クロラ』の押井守が脚本で、アニメ化！「千年彗星（<揺るる火>。人のすがたに似せてつくられた、人工の星）のかかえる火があれば、人はもう黒い森におびえずともすむだろう。その星を狩った者は、こう呼ばれるだろう。“火狩りの王”と」。舞台は、人類最終戦争後の人が自由に火を使うことのできなくなった世界。大地は黒い森に覆われ、そこはさまざまなすがた形の炎魔^{えんま}と呼ばれる獣^{けもの}が闊歩する領域になっている。人は結界に守られた土地で細々と暮らしていた。天然の火を扱うことのできない人々は、森に棲む炎魔を狩り、火を手に入れることを生業^{なりわい}とする“火狩り”にもっぱら頼って暮らしていた…。小さな紙漉きの村の灯子は、先立たれた両親の代わりにやっかいになっているおぼさんの目の薬を取りに行こうとして、禁を破り黒い森に足を踏み入れ、炎魔に襲われたところを火狩りに救われるが、火狩りは命を落とし、武器である黄金の鎌と狩り犬のかなたを灯子に託す。灯子は、それらの形見を返しに、皆のあこがれる首都へと行くことになる。首都と村をつなぐ頑丈な黒い回収車に乗り、炎魔の棲まう森を抜けて…。人も死ぬ息もつかせぬ怒濤の展開のなかで、魅力ある登場人物たちが世界の秘密に肉薄していく、ファンタジーの理想型！

☆『水底のスピカ』 乾 ルカ

「転校してきたときから一貫して、美令は何をせずとも目立っていた。ただそこにいるだけで、彼女は周囲を負かしてしまう。あの子に比べたら他の女の子は冴えないね、の冴えない側に、問答無用で組み込まれる理不尽」。夏休み明けの北海道立白麗高校2年8組に、異変が起きた。東京からやってきた転校生のおかげで。汐谷美令。容姿端麗にして頭脳明晰。完璧な彼女は学校中から注目を集めるが、クラスの上位カーストの女子に「ここから海へはどう行くの？」と尋ねたせいで（札幌に海はない）、「東京の人」認定され存在を完全無視されるような存在になってしまった。孤独ではなく孤高。モブでいることがイヤでクラスでひとりでいた和奈は、孤立した彼女と学園祭の仕事でペアを組むのに手を上げ、友達になる。美令は男子生徒に自転車を借りて、毎週木曜には遠く離れた海までひとりで行くのだった。「私、神様の見張り番をしているの」。そして、スマホのアプリで家にいる神様を監視しているのだそう。和奈は美令の秘密を理解したいと思うが…。恋バナだけではない珠玉の青春小説！

『^{かじつ}夏日狂想』 窪 美澄

『**夜に星を放つ**』で直木賞を受賞後初となる作品。「私は『男たちの夢』であるよりも、『書く女』になりたかった」。作者自身と重ねられる「書く女」の生涯が書かれます。「愛するものは、死んだのですから たしかにそれは、死んだのですから」。タイトルは、中原中也の『永訣の秋』収録「春日狂想」から。「愛するものが死んだときには、自殺しなけあなりません」のあれです。ヒロインの野中礼子は、中原中也・小林秀雄との三角関係で知られる長谷川泰子をモデルにしているようです。中也を始め、実在の文学者を思わせる人物たちが登場します。広島裕福な家に生まれた「器量よし」の礼子は、父親に溺愛され、ミッション系の女学校でも友達に恵まれ、幸福な学生生活を送っていたが、14歳で父の早逝とそれを追った母の自殺未遂により、暗転する。預けられた叔父は昔ながらの厳格な人だった。女学校を出たら当然結婚させられそうになるが、礼子は職業婦人として働くことで逃げるのだった。さらには、幼いころからの夢である女優になるために、教会で出会った詩人とともに東京へしゅつぽんと出奔する…。「男達は一人、また一人、この世からいなくなり、私だけが生き残り、そして、一人になった。今の私にはただ、書きたいという純粋な気持ちだけが存在するのみである」。

『^{どうばたかいと}聞く技術、聞いてもらう技術』 東畑 開人

「読むカウンセリング」『**なんでも見つかる夜に、こころだけが見つからない**』もすばらしかった著者初の新書！「聞くこと」が仕事のカウンセラーである著者が、「聞くことのちから」について語ります。誰かに話を聞いてもらうことで、モヤモヤしていた気持ちがすっきりした経験は、誰にもあると思います。苦境にあるとき、誰かが話を聞いてくれる。その苦悩を誰かが知ってくれて、心配してくれるだけで、ただそれだけのことが心に力を与えてくれる。心のケアとは話を聞かれること。みんなが心配している。そして本人も聞いてもらうことを恐れなくなっている。そういうときに、心は回復していく。「なにかあった？」と尋ねてみよう。どうしてもそう言えないときは、「聞いてもらう」から始めよう。「聞く」ために、あなたから誰かに「聞いてもらう」を始める。「ちょっと聞いて」と言ってみよう。今はそう言えないときには、「聞く」ところから、始めよう。

————— 着道楽のせーやさんですが、すっかりたくさんになったシャツを数えてみたら、お気に入りのものだけでなんと 40 枚以上もありました！
もうよほどのものでなければ買うまいと決意しました w では、図書館で。